

事故等の発生状況

◆鉄軌道運転事故

鉄軌道運転事故は、右記のように7種類に分類されます。平成22年度は、踏切障害事故と道路障害事故・鉄道人身障害事故が計11件発生し、この3種類以外の事故は発生していません。

踏切障害事故は、完全下降している踏切遮断桿を突破した自動車が、列車と接触したもののほか、人や自転車が踏切内に侵入したことによるもの、道路障害は自動車が急に右折し軌道敷内に侵入したことによるもの、鉄道人身障害はホームからの飛び降りやホーム上での接触などによるものです。

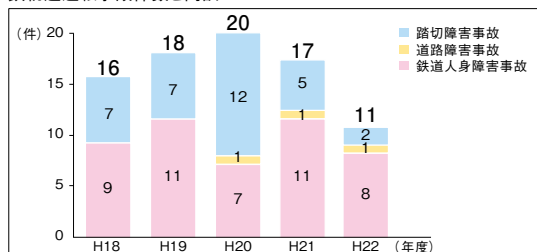
鉄軌道運転事故の分類

種類	内容
列車衝突事故	列車が他の列車または車両と衝突し、または接触した事故をいう
列車脱線事故	列車が脱線した事故をいう
列車火災事故	列車に火災が生じた事故をいう
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故をいう
道路障害事故	踏切道以外の道路において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故をいう
鉄道人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故（前各号の事故に伴うものを除く）をいう
鉄道物損事故	列車または車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故（前各号の事故に伴うものを除く）をいう

鉄軌道運転事故件数

年度	H18	H19	H20	H21	H22
列車衝突事故	0	0	0	0	0
列車脱線事故	0	0	0	0	0
列車火災事故	0	0	0	0	0
踏切障害事故	7	7	12	5	2
道路障害事故	0	0	1	1	1
鉄道人身障害事故	9	11	7	11	8
鉄道物損事故	0	0	0	0	0
合計	16	18	20	17	11

(件) 鉄軌道運転事故件数と内訳



踏切障害事故件数の内訳

年度	H18	H19	H20	H21	H22
直前横断	6	4	7	5	2
その他	1	3	5	0	0
合計	7	7	12	5	2

(件) 鉄道人身障害事故件数の内訳

年度	H18	H19	H20	H21	H22
ホームからの転落	2	3	3	6	2
ホーム上での接触	4	3	3	4	2
線路内侵入	3	5	1	1	4
合計	9	11	7	11	8

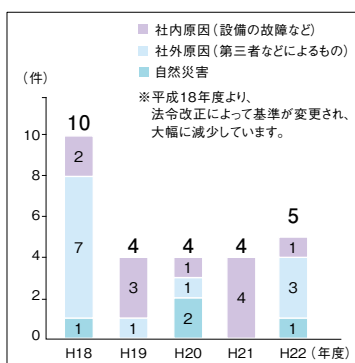
◆輸送障害

輸送障害とは、鉄道による輸送に障害を生じた事態であって、鉄道運転事故以外のもの（列車の運転休止または30分以上の遅延が生じたもの）をいいます。

平成22年度は、5件発生しました。

輸送障害件数

年度	H18	H19	H20	H21	H22
社内原因(設備の故障など)	2	3	1	4	1
社外原因(第三者などによるもの)	7	1	1	0	3
自然災害	1	0	2	0	1
合計	10	4	4	4	5



◆インシデント

インシデントとは、事故には至りませんでした。事故につながる可能性のあった事態をいいます。監督官庁に届け出ることや社内で周知することにより、事故の未然防止に役立てています。平成22年度は、0件でした。

インシデント件数

年度	H18	H19	H20	H21	H22
インシデント	0	0	0	2	0

安全投資

平成22年度は鉄道事業設備投資として総額約83億円を投資し、うち安全関連設備投資として、淀駅付近の立体交差化、新型ATS導入に向けた調査、踏切・信号の更新などを実施しました。平成23年度は投資総額約71億円で、淀駅付近の立体交差化、耐震補強、列車防護無線装置の新設などを実施する予定です。

安全に対する投資額

